

令和 8 年 度 着 手

木部新保地区 暗渠排水事業 計画概要書
【県営経営体育成基盤整備事業（土地総）】

事業主体 福 井 県

第1章 目 的

本地区は福井県坂井市の西部に位置し、一級河川九頭竜川の流域に広がる農業地帯であり、水稲を中心とし、大麦、大豆、そばを組み合わせた営農が展開されているが、近年、水田を利用した高収益作物を導入することに意欲的な地域である。

本地区の農業基盤は、県営及び団体営土地改良事業によって整備され現在に至っているが、暗渠排水の機能低下により、再び湿田化している状況である。このため、担い手農家による大型農業機械を利用した営農が困難な状況であり、更なる農地の集積、水田園芸作物の推進に支障をきたしている。

このため、本事業により、暗渠排水を整備し、大型農業機械の効率的利用を可能とし、担い手への更なる農地集積、高収益作物の作付拡大を図ることで、安定した農業経営を確立させることを目的とする。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地 域

坂井市 坂井町 : 木部新保 地係

第2節 地 積

事業名 地 目 市町村名	暗 渠 排 水						備 考
	田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)			計 (ha)	
坂 井 市	93.5	—	—			93.5	
計	93.5	—	—			93.5	

第3節 現 況

1. 気 象

観測所名	福井観測所	かんがい期	非かんがい期	計または平均
観測期間	H 23 ~ R 2	5月 ~ 9月	10月 ~ 4月	(年 間)
平均 気 温 (°C)		23.8	8.9	15.1
平均 降 水 量 (mm)		194	207	202
平均 降 水 日 数 (日)		11	17	15
根 雪 期 間		12月 ~ 3月		日 間
無 霜 期 間		4月 ~ 11月		日 間
最多風向	S(南)	最大風速		21.8 m/s

2. 地形地質

本地区の地形は標高1.5～2.5m、勾配1/1500～2500（主傾斜1/2000）となっている。

本地区は福井県の坂井平野西部に位置する低平地域の穀倉地帯であり、地区の西側には一級河川九頭竜川が隣接し、南から北に向かって流下している。

3. 水利状況

該当事項なし

4. 営農状況

地区の農業は、集落営農組織1組織、個人の認定農業者3名からなり、近年担い手農家への農地の集積が進んでおり、営農基盤の強化と効率化が図られているが、地区の排水路は老朽化が著しく、施設の維持管理に苦慮しており、担い手への維持管理労力が集中している状況である。

また、水稻主体の営農を行っており、大麦、大豆、そばを転作する土地利用型農業を行っている。

5. 地域環境の概略

本地区には、キタノメダカ、オオタニシ、イシガイ、イチョウウキゴケ、ウスゲチョウジタデ、ミズマツバ等の稀少な動植物が確認されている。また、一級河川九頭竜川の流域に広がる農地であり、豊かな自然環境を形成している。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

1. 要旨

本事業により、暗渠排水を整備し、大型農業機械の効率的利用を可能とし、農地集積拡大、高収益作物の作付拡大を図ることで、安定した農業経営を確立させる。

2. 事業別面積

土地利用区分 工 区	暗 渠 排 水					計 (ha)	備 考
	旧 田 (ha)	新規田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	その他		
乾 田 化	—	—	93.5	—	—	93.5	
計	—	—	93.5	—	—	93.5	

第2節 営農計画

本事業を契機に、農地利用集積を促進していくことで、効率的な営農を行うとともに、基盤整備を契機に高収益作物の収量、品質アップを図ることで、安定した農業経営を確立する。

第3節 環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

更に、保全対象生物であるキタノメダカ、オオタニシ、イシガイ、イチヨウウキゴケ、ウスゲ、チョウジタデ、ミズマツバ等の配慮対策を検討し保全に努める。

第4節 計画基本事項

1. 暗渠排水事業

ア) 暗渠排水計画

単位排水量・・・6.1リットル/s/ha

吸水渠・・・ポリ管 モミガラ 間隔7.5m

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の内容

1. 暗渠排水事業

ア) 暗渠排水工 A = 93.5 ha (ポリ管φ50～60, モミガラ, ネジ式水閘)

第2節 予定工期

令和 8 年 ～ 令和 13 年

第3節 管理の要領

本事業により設置された暗渠排水施設は、受益者が管理する。

第5章 換地計画の要領
 第1節 換地計画樹立の必要性

該当なし

第2節 換地計画樹立の基本方針
 1. 従前の土地の地積の基準

該当なし

2. 農用地集団化の方法

該当なし

区分 換地区	地帯別 グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置選択	1戸当たり 目標団地数	区画畦畔の 取り扱い

3. 非農用地の換地方針

該当なし

4. 清算の方法

該当なし

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入に係る地積

該当なし
単位:ha

用途	区分	機能交換に係る土地				一般 国有地	合計
		国有地	県有地	市町村有地	計		
	計						

第4節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第6章 費用の概算

令和 7 年度価格

区 分	事業費 (千円)	事務費 (千円)	総事業費 (千円)	備 考
全 区	433,000	—	433,000	
計	433,000	—	433,000	

第7章 効 用

令和 7 年度価格

区 分	年 総 効 果 (便 益) 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
食料の安定供給の確保 に関する効果	49,849	55,448	総費用総便益比： 1.92 総所得償還率： 11.0 % 増加所得償還率： 5.2 %
作物生産効果	5,081	10,680	
営農経費節減効果	44,768	44,768	
維持管理費節減効果	—	—	
農村の持続的発展 に関する効果	—	—	
農村の振興 に関する効果	—	—	
多面的機能の発揮 に関する効果	—	—	
そ の 他 効 果	1,529	—	
国産農産物 安定供給効果	1,529	—	
計	51,378	55,448	

第8章 他の事業との関連

該 当 事 業 な し

第9章 計画概要図

別 添 図 面 参 照

事業の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1 事業費の負担区分の予定

令和 7 年度価格

1) 総事業費

・暗渠排水 433,000 千円也 [事業費 433,000 千円也]
[事務費]

2) 負担区分

【暗渠排水事業】

令和 7 年度価格 (千円)

区 分		補 助 率	金 額	計
国 庫 補 助	事 業 費	50.00 %	216,500	
県 費	事 業 費	30.00 %	129,900	
分 担 金	坂 井 市	10.00 %	43,300	
		%		
	地 元	10.00 %	43,300	
計	事 業 費		433,000	433,000
	事 務 費			

2 地元負担の予定基準

地積割に賦課する

3 負担団体

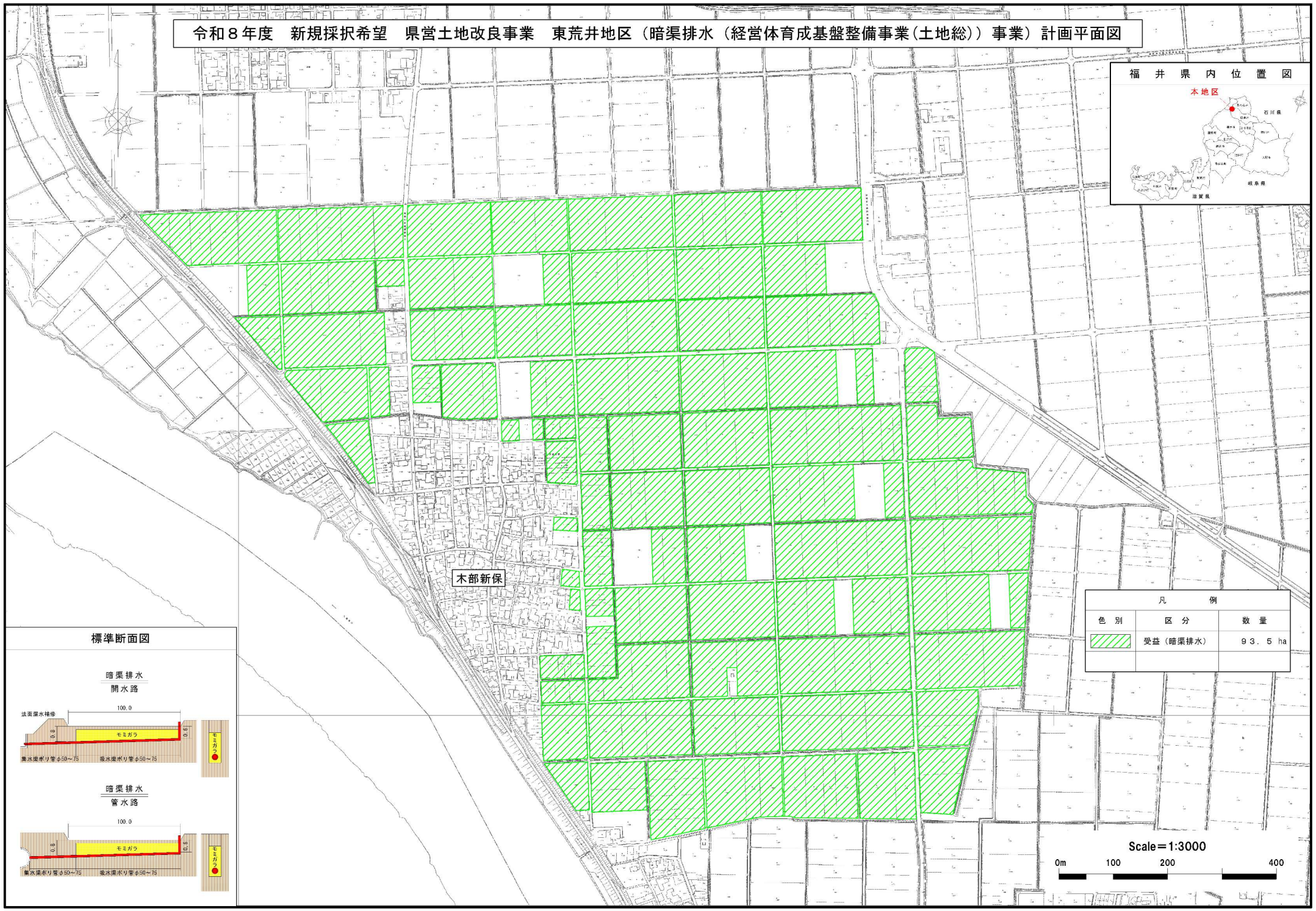
坂 井 市

坂 井 土 地 改 良 区

一 定 地 域 調 書

令和8年度 新規採択希望 県営土地改良事業 東荒井地区（暗渠排水（経営体育成基盤整備事業(土地総)）事業）計画平面図

福井県内位置図



木部新保

凡 例		
色 別	区 分	数 量
	受益（暗渠排水）	93.5 ha

標準断面図

